

— 沼津の文化の殿堂 —

沼津市民文化センター改修について

教育委員会事務局
文化振興課

直通 055 - 934 - 2561

沼津市民文化センターは、現有施設を維持しながら必要箇所の改修を行い、沼津の文化の殿堂として、引き続き市民の皆さまの文化芸術活動を支援します。

1 改修のポイント

(1) 既存施設を生かすこと

- ・ 重厚感のあるロビー（大理石や磁器タイルを使用）
建設当時でも高価で現在では入手困難かつ良質な資材
- ・ デザイン性の高い吹き抜け
- ・ 和室・茶室など

(2) 文化芸術活動の場所を確保すること（長期間休館しないこと）

- ・ 工事エリアを設定してエリアごとに順次改修

2 令和7年度から9年度までの改修内容等

(1) 工事の内容：空調設備、受変電設備の更新

(2) 工期の内訳：令和7年度 更新機器類の発注

令和8年度 夏頃から工事着手

令和9年度 春頃に工事完了

(3) 令和7年度から9年度までに総額：約11億円（令和8、9年は債務負担行為を設定）

(4) 令和9年度以降は大・小ホール、展示室、会議室、練習室の改修を予定

3 市民文化センターの改修により目指す方向性

- ・施設利用者の更なる拡大を目指すとともに、隣接する香陵アリーナと互いの施設機能を補完しつつ、香陵アリーナのスポーツ競技に合わせた展示等の連携を図ります。
- ・香陵アリーナとの間にある公共空間「もりの広場」を活用したイベント開催などにより、両施設を行き来し、文化とスポーツを同時に体感できるなどの、相乗効果を生み出します。
- ・沼津駅から商業エリアや中央公園を通り、香陵アリーナと市民文化センターへ、そこから沼津港や香貫山へ向かうなど、各拠点施設等との連絡を図り、まちなかの一体的な回遊性を促進し、更なるにぎわいや交流人口の拡大を創出するための仕組みづくりに取り組みます。